

1 . 研究業績

(1) 原著・報告

Satoko Nagata, Marie Tabata, Hiroko Ooshima, Naomi Sumi, Sachiyo Murashima, Megumi Haruna.
Current status of discharge planning activities and systems: National survey of discharge planning in Japan.

Japan Journal of Nursing Science, 1(2), 87-97, 2004.

Hiroko Ohshima, Sachiyo Murashima, Ryutaro Takahashi.

Assessments of Nursing Care for Right Brain-damaged Stroke Patients: Focusing on Neglect and related symptoms.

Nursing and Health Sciences, 6(2), 115-121, 2004.

Masae Ueno, Mami Kayama, Sachiyo Murashima.

How public health nurses understand mothers of abused and neglected children: The perception of 'Shindosa' in mothers.

Japan Journal of Nursing Science, 1(1), 117-24, 2004.

Emiko Saito, Junko Takai, Katsuko Kanagawa, Akiko Honda, Kazuko Saeki.

Changes in functional capacity in older adults living alone: A three year longitudinal study in a rural area of Japan.

Japanese Journal of Public Health, 51(11), 958-968, 2004.

村嶋幸代, 田口敦子 .

現代の保健師 より健康な地域社会創造の担い手として、そして、自分の仕事の意味と効果を明示できる存在として .

公衆衛生 , 68(4) , 256-259 , 2004 .

村嶋幸代, 田口敦子 .

地域看護 : 社会の問題に対処する看護 .

教育と医学 , 608 , 144-155 , 2004

村嶋幸代, 田口敦子, 近藤由生子 .

夜間・早朝ケアを支えるために 24時間訪問看護・介護の提供方策 .

保健の科学 , 47(1) , 19-25 , 2005 .

安齋由貴子, 吉田澄恵, 麻原きよみ, 村嶋幸代, 佐藤憲子, 酒井太一 .

市町村保健師が新たに立ち上げた活動の事業過程としての特徴 .

日本地域看護学会誌 , 7(1) , 55-61 , 2004 .

大西和子, 村嶋幸代, 北島謙吾, 川口孝泰, 馬庭恭子.
第23回日本看護科学学会学術集会シンポジウム 地域貢献に焦点を当てた看護実践日本
看護科学会誌, 24(1), 72-80, 2004.

永田智子, 大島浩子, 田畑まりえ, 村嶋幸代, 鷺見尚己, 春名めぐみ.
退院支援の現状に関する全国調査 病院における退院支援の実施体制に焦点を当てて .
病院管理, 41(4), 301-310, 2004.

村山洋史, 春名めぐみ, 村嶋幸代, 吉岡京子, 永田智子.
地域母子保健事業の継続と発展の要因 .
日本地域看護学会誌, 6(2), 55-61, 2004.

松永篤志, 永田智子, 村嶋幸代.
特定機能病院における病棟看護師の退院支援についての認識および実施状況 退院支援部
署の有無による比較に焦点を当てて .
病院管理, 41(3), 185-194, 2004.

指田百恵, 永田智子, 村嶋幸代, 春名めぐみ.
ハンセン病回復者の社会復帰時の生活に関する研究 再入所者への面接調査から .
日本公衆衛生雑誌, 52(2), 146-157, 2005.

大島浩子, 村嶋幸代, 高橋龍太郎
失認関連症候を有する右大脳半球脳卒中患者の生活障害の経時的変化
(財)博慈会老人病研究所紀要「未病と抗老化」, 3(6), 17-21, 2004.

吉岡京子, 麻原きよみ, 村嶋幸代
地域の健康問題に関する保健師による事業創出のプロセスと方策
日本公衆衛生雑誌, 51(4), 257-271, 2004.

糠信憲明, 東山あゆみ, 守屋優一, 横山久美, 築地真美, 平野貢, 田爪正氣
空中浮遊菌数を指標とした手術室への入室方法の検討
日本無菌生物ノートバイオロジー学会誌(無菌生物), 34(2), 70-72, 2004.

糠信憲明, 渡辺友子, 横山久美, 築地真実, 田爪正氣
救命救急センターにおける人工呼吸器関連肺炎についての検討
東海大学健康科学部紀要, 10, 21-25, 2005.

田口敦子, 岡本玲子
ヘルスプロモーションを推進する住民への保健師の支援過程の特徴
日本地域看護学会誌, 6(2), 19-27, 2004

(2) 総説・解説など

村嶋幸代 .

シンポジウム：未来を見つめるナースィング・アカデミー・21世紀ストラテジー
日本看護科学学会のストラテジー .
日本看護研究学会雑誌，27(2)，115-118，2004 .

村嶋幸代 .

第35回日本看護学会 - 地域看護学 - 特別講演：住民の権利擁護と地域看護 .
看護，7(4)，2005.3月臨時増刊号，179-185，2005

永田智子

退院支援実践の現状と課題(<特集>第15回日本在宅医療研究会学術集会) .
癌と化学療法，31 Suppl. ，159-161，2004 .

渡井いずみ

産業看護職による企業内での子育て支援
保健の科学，46(2)，417-421，2004

(3) 受賞

大島浩子

失認関連症候を有する右大脳半球脳卒中患者の生活障害の変化
平成16年 博慈会老人病研究所 優秀論文助成 『高齢社会における医療システムに関する研究』優秀論文賞受賞 2004，4月

(4) 著書

村嶋幸代(編集・分担執筆)

最新 保健学講座3 地域看護支援技術
東京：メヂカルフレンド，2004，2-11

田口敦子(分担執筆)

最新 保健学講座3 地域看護支援技術
東京：メヂカルフレンド，2004，278-92

田口敦子(分担執筆)

精神科 社会復帰施設

東京：中央法規出版，2005，254-62

(5) 報告書

村嶋幸代，田口敦子，永田智子，近藤由生子，他．

24 時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究 - 夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化 -

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究 報告書，2005．

村嶋幸代，上野桂子，野中博，宮崎和加子，山崎摩耶，和田行男，永田智子，近藤由生子，田口敦子，他．

痴呆性(認知症)高齢者への訪問看護の拡大研究事業．

平成 16 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)報告書，2005．

村嶋幸代，永田智子，大内尉義，長野宏一郎，高橋龍太郎，春名めぐみ，田畑まりえ，大島浩子，鷲見尚己，松永篤志，柳澤愛子，若林浩司，戸村ひかり．

高齢入院患者に対する退院支援プログラムの有効性に関する研究．

平成 13～15 年度文部科学省科学研究費(基盤研究 B)報告書，2005．

高橋龍太郎，村嶋幸代，今福一郎，永田智子，大島浩子

厚生労働科学研究費補助金 長寿総合研究事業 脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究(H14-長寿-021)

平成 16 年度総括研究報告書，2004．

川越博美，村嶋幸代，高橋龍太郎，山本則子，永田智子，小林小百合，他．

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究(主任研究者：村嶋幸代・川越博美)

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)研究報告書，2005．

村嶋幸代，高橋龍太郎，今福一郎，大島浩子

失認・失行を有する脳卒中患者の生活障害に関する研究(K354)

2003(平成 15)年度(財)三井住友海上福祉財団 研究助成，交通安全・高齢者福祉関係助成研究成果報告書，2004．

吉岡京子，村嶋幸代

ユニバーサル財団調査研究報告書

「豊かな高齢社会の探求 vol.12」報告書，2004．

(6) 学会発表

前田一寿, 渡井いずみ, 錦戸典子, 中田光紀, 平田衛, 飯島美代子, 江村晴子
中小規模事業場への健康支援に関する研究の動向 文献検討結果よりー
第77回日本産業衛生学会, 愛知県, 名古屋国際会議場, 2004年4月13日~16日

戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代.
入院中と退院直後からみた退院支援 退院支援のプロセス及び要素の明確化 .
第7回日本地域看護学会, 大阪府 大阪大学コンベンションセンター, 2004年6月12日
~13日

錦戸典子, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代, 麻原きよみ, 安齋由貴子, 蔭山正子, 都筑千景, 横山梓, 武内奈緒子.
保健師活動におけるグループ支援の方向性 文献検討結果より .
第7回日本地域看護学会, 大阪府 大阪大学コンベンションセンター, 2004年6月12日
~13日

山本千聡, 田口敦子, 本田亜起子, 村嶋幸代, 堀井とよみ, 駒井和子
24時間3交代制をとる訪問看護ステーションの利用状況 - 介護保険施行前後の比較から -
第7回日本地域看護学会, 大阪府 大阪大学コンベンションセンター, 2004年6月12日
~13日

田口敦子, 本田亜起子, 村嶋幸代, 島田千穂, 川越博美
訪問看護ステーションの夜間・早朝帯の体制に関する全国調査
第7回日本地域看護学会, 大阪府 大阪大学コンベンションセンター, 2004年6月12日
~13日

横山 梓, 田口敦子, 村嶋幸代
1歳6ヶ月児の母親における子育て支援サービスの利用状況とその関連要因: 育児グループと個別相談の利用の有無による比較
第7回日本地域看護学会, 大阪府 大阪大学コンベンションセンター, 2004年6月12日
~13日

吉岡京子, 麻原きよみ, 村嶋幸代
地域の健康問題を明確化するための方法論の開発
新規事業を創出した保健師の活動から
第7回日本地域看護学会, 大阪府 大阪大学コンベンションセンター, 2004年6月12日
~13日

大島浩子，村嶋幸代，高橋龍太郎

Neglect を有する脳卒中患者の生活障害評価 the Catherine Bergego Scale (CBS)日本語版
の開発に向けて

第 8 回高齢者介護・看護・医療フォーラム，京都府 国立京都国際会館，2004 年 10 月 2
日

Sayuri Kobayashi，Noriko Yamamoto-Mitani，Satoko Nagata，Sachiyo Murashima，Hiroimi
Kawagoe，Ryutaro Takahashi

Terminal Care for the elderly with dementia in a group-home setting: A case study

20th International Conference of Alzheimer's Disease International Kyoto 2004， Kyoto International
Conference Hall， October 15-17， 2004

田口敦子，村嶋幸代，本田亜起子，近藤由生子，堀井とよみ，小谷直子，宿里泉
訪問看護の必要性アセスメントシートの開発

第 63 回日本公衆衛生学会，島根県 くにびきメッセ，2004 年 10 月 27 日～29 日

村嶋幸代，田口敦子，本田亜起子，堀井とよみ，宿里泉，小谷直子，平林素子，近藤由生
子

複数の訪問看護ステーションの連携による夜間・早朝訪問実施の効果

第 63 回日本公衆衛生学会，島根県 くにびきメッセ，2004 年 10 月 27 日～29 日

本田亜起子，古谷野亘，西村昌記，村嶋幸代

夫婦のみ世帯における老老介護の実態

第 63 回日本公衆衛生学会，島根県 くにびきメッセ，2004 年 10 月 27 日～29 日

有本 梓，村嶋 幸代，今野 一江，大井 照

1 歳 6 ヶ月児の母親における育児不安の関連要因 - 子育て支援体制に関する検討 -

第 63 回日本公衆衛生学会， 島根県 くにびきメッセ， 2004 年 10 月 27 日～29 日

斉藤恵美子，高井純子，本田亜起子，金川克子，森津外茂美，佐伯和子

一人暮らし高齢者の生活と健康に関連する要因(第 1 報)：生活機能の変化

第 63 回日本公衆衛生学会，島根県 くにびきメッセ，2004 年 10 月 27 日～29 日

高井純子，斉藤恵美子，本田亜起子，金川克子，森津外茂美，佐伯和子

一人暮らし高齢者の生活と健康に関連する要因(第 2 報)：主観的健康観による特性

第 63 回日本公衆衛生学会，島根県 くにびきメッセ，2004 年 10 月 27 日～29 日

水嶋春朔，長岡 正，古屋博行，吉岡京子，山多美代子，柴田則子，岡本直幸，岡崎 勲

「かながわ健康プラン 2 1」ベースライン評価としての基本健康診査データの活用

第 63 回日本公衆衛生学会，島根県 くにびきメッセ，2004 年 10 月 27 日～29 日

錦戸典子, 吉岡京子, 荒井澄子, 川名ヤヨ子, 渡井いずみ, 福田英子
地域・職域連携システム構築における保健師活動の検討(第1報)
第63回日本公衆衛生学会, 島根県 くにびきメッセ, 2004年10月27日~29日

吉岡京子, 錦戸典子, 荒井澄子, 川名ヤヨ子, 渡井いずみ, 福田英子
地域・職域連携システム構築における保健師活動の検討 (第2報)
第63回日本公衆衛生学会, 島根県 くにびきメッセ, 2004年10月27日~29日

大島浩子, 村嶋幸代, 高橋龍太郎
失認関連症候を有する右大脳半球脳卒中患者の生活障害: Neglect 行動評価尺に焦点を当てて
第31回日本脳神経看護研究学会, 大阪府 ナーシングアート大阪, 2004年11月6日~7日

Azusa Arimoto, Atsuko Taguchi, Sachiyo Murashima
Factors related to participation in support groups and self-help groups of mothers with toddlers in Japan
American Public Health Association 132nd Annual Meeting, Washington D.C., Washington Convention Center, November 6-10, 2004

Kyoko Yoshioka, Sachiyo Murashima, Kiyomi Asahara
Community-based assessment strategies of Japanese Public Health Nurses in identifying community health problems
The 132nd Annual Meeting of American Public Health Association, Washington D.C. Convention Center, November 6-10, 2004

村嶋幸代, 田口敦子, 本田亜起子, 島田千穂, 川越博美
訪問看護ステーションにおける夜間・早朝の電話対応の調査
第24回日本看護科学学会, 東京 東京国際フォーラム, 2004年12月4~5日

大島浩子, 村嶋幸代
失認・失行を有する脳卒中患者の生活障害に関する研究: CBS 日本語版を用いて
第24回日本看護科学学会, 東京 東京国際フォーラム, 2004年12月4~5日

塩谷さや香, 村越安佐子, 高群麻美, 北村幸子, 糠信憲明, 松山孝, 築地真実, 田爪正氣
看護師のハンドケアと感染防止
第38回日本無菌生物ノートバイオロジー学会, 大阪府 千里ライフサイエンスセンター, 2005年1月26日~27日

黒田加陽子，丸山紀子，Julia W.Soebagio，吉田光子，糠信憲明，田爪正氣
胸腔ドレーンにおける排液バックの交換頻度に関する研究
第 20 回日本環境感染学会総会，兵庫県 神戸国際会議場，2005 年 2 月 24 日～2 月 26 日

守屋優一，糠信憲明，高松美紀子，高山典子，上野正文，築地真実，田爪正氣
手術室における一足制導入に向けての意識調査
第 20 回日本環境感染学会総会，兵庫県 神戸国際会議場，2005 年 2 月 24 日～26 日

Hiroko Ohshima, Sachiyo Murashima.

Daily life difficulties among stroke patients with Neglect : Using Neglect behavioral scale.
The 1st Meeting of the Asian Stroke Forum, Tokyo Tokyo Prince Hotel, March 12-13, 2005

(7) 講演など

Sachiyo Murashima .

Long-term care system and home nursing in Japan
The 1st Community, Public Health and Home care Nursing Academic Conference, Korea ,
Seoul Woman's plaza International Convention Hall , May 11,2004

Sachiyo Murashima .

Long-term care system in Japan
Aging society and elderly care in Finland and Japan
Japan Society for the Promotion of Science, November 12, 2004

Sachiyo Murashima .

Care management and long-term care system in Japan
University of Victoria , Canada , March 23, 2005

村嶋幸代 .

公衆衛生看護の動向とこれからの保健師活動のあり方について
東京都保健師会自主運営業務研究会，東京都保健師会，多摩立川保健所講堂，2004 年 5 月
24 日

村嶋幸代 .

住民の権利擁護と地域看護 .
第 35 回日本看護学会 - 地域看護学 - ，特別講演，高知県看護協会，高知県立県民文化ホー
ル，2004 年 10 月 24 日

大島浩子(研究助成受賞者代表講演者)

「研究の継続とその成果および今後の方向性」 脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究

三井住友海上福祉財団 2004(平成16)年度高齢者研究助成金贈呈式 高齢者福祉関係 記念講演, 東京都 住友会館泉ガーデンタワー42階, 2004年11月25日

村嶋幸代.

訪問看護ステーションにおける効果的・効率的な24時間ケアモデルの開発

平成16年度訪問看護事業者(管理者)大会, 社団法人全国訪問看護事業者協会, 日本医師会館, 2005年3月10日

村嶋幸代.

講義:「保健師の専門能力の向上をめざして」

山形県保健師研修会, 山形県立保健医療大学 2005年3月19日

(8) シンポジウム・セミナー等

田口敦子(講師)

健康社会研究会

「保健師活動におけるグループ支援」

日本子ども家庭総合研究所 2004年5月8日

紀伊國献三(座長), 池田俊也, 野村一俊, 永田智子, 武藤正樹(シンポジスト).

シンポジウム 地域医療連携体制の構築.

第15回日本在宅医療研究会学術集会, 東京都 東京女子医科大学, 2004年6月25日~26日

村嶋幸代.

科目: 地域福祉サービス 課目: 地域ケアを推進するための専門職の協働

市町村職員中央研修所 2004年9月7日

横山 梓(講師)

板橋区役所 保健師全体研修会

講演「1歳6ヶ月児の母親における子育て支援サービスの利用状況、育児不安、精神的健康度とその関連要因 - 調査報告 - 」

村嶋幸代(開会挨拶・総評)

大島浩子(発表)「失認・失行と看護ケア」

高橋龍太郎，江藤文夫，石合純夫，金丸和富，尾関誠，鈴木孝治，小林明美，今福一郎(シンポジスト)

永田智子，長弘佳恵，村山洋史(運営事務局)

脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究 ワークショップ

「厚生労働科学研究費補助金 長寿総合研究事業 脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究(H14-長寿-021)」一環事業

東京都 東京大学山上会館 201-2 会議室，2004 年 9 月 25 日

村嶋幸代．

平成 16 年度認定調査員現任研修 東京都福祉保健局高齢者対策部

東京都社会福祉保健医療研修センター 2005 年 3 月 18 日

(9) その他

村嶋幸代，大島浩子

看護研究指導：咽頭摘出術後を受けた患者の退院指導について

東京大学医学部附属病院看護部 10 階北病棟(耳鼻咽喉科)

菅野葉子，大熊麻紀子，石澤千絵

金川克子，佐甲隆，佐伯和子，平野かよ子，大井田隆，伊達ちぐさ，實成文彦，村嶋幸代．

公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会活動報告(その 2)

自由集会：「公衆衛生看護における人材の育成をめくって 保健婦卒業後教育の現状と課題」．

日本公衆衛生雑誌，51(7)，561-570，2004．

2. 研究活動

(1) 抄読会(毎週火曜日)

2004年度：前期 2004. 4/20 ~ 7/20 , 後期：9/14 ~ 2005. 3/8

4月20日 オリエンテーション

村嶋幸代：平成16年度の開始に当たって - 地域看護学教室の目指すものと基本的事項 -
永田智子：抄読会について

4月27日

田口敦子(話題提供)：24時間訪問看護研究

横山 梓(文献紹介)：Patterson J , Barlow J. Mockford C , Klimes I , Pyper C , Stewart-Brown S. Improving mental health through parenting programmes: block randomized controlled trial. Arch Dis Child. 87: 472-477 , 2002.

5月11日

吉岡京子(文献紹介)：Kennedy , C. M.. A typology of knowledge for district nursing assessment practice. Journal of Advanced Nursing , 45(5) , 401-209 , 2004

大島浩子(文献紹介)：Lin Perry. Screening swallowing function of patients with acute stroke. :Part one: identification , implementation and initial evaluation of a screening tool for use by nurses . Journal of Clinical Nursing , 10 : 463-73 , 2001.

5月18日

小林小百合、渡井いずみ：修士論文経過報告

5月25日

岩瀬裕三子、松崎政代：修士論文経過報告

6月1日

永田智子(文献紹介)：Bowles KH , Naylor MD , Foust JB. Patient Characteristics at Hospital Discharge and a Comparison of Home Care Referral Decisions. JAGS. 50: 336-342 , 2002.

Maria Luisa T. Uayan：博士論文経過報告

6月8日

吉岡京子、横山梓、田口敦子：第7回日本地域看護学会学術集会発表予行

武内奈緒子(文献紹介)：Ivor J. Katz , Lana Sofianou and Mark Hopley. An African community-based chronic ambulatory peritoneal dialysis programme. Nephrol Dial Transplant , 16:2395-2400 , 2001

6月15日

渡辺悦子(文献紹介) : Long-term plasma lipid changes associated with a first birth The coronary artery risk development in young adults study. American Journal of Epidemiology; 159: 1028-1039. 2004.

本田亜起子(話題提供) : 高齢夫婦世帯の介護に関連する問題および研究課題

6月29日

小林小百合、渡井いずみ : 修士論文経過報告

7月6日

岩瀬裕三子、松崎政代 : 修士論文経過報告

7月13日

大田えりか (文献紹介) : P Laugiou: Diet during pregnancy in relation to maternal weight gain and birth size. European Journal of Clinical Nutrition 58:231-237 , 2004.

近藤由生子(話題提供) : 痴呆性高齢者への訪問看護の拡大研究事業について

7月20日

村山洋史(文献紹介) : Suzanne F. Jackson , Shelley Cleverly , Blake Poland , et al. Working with Toronto neighbourhoods toward developing indicators of community capacity. Health Promotion International , 18(4): 339-350 , 2003.

長弘佳恵(文献紹介) : Valerie Swigart. Homeless Persons' decisions to Accept or Reject Public Health Disease-Detection Services. Public Health Nursing 21(2):162-170 , 2004

(後期)

9月14日

村嶋幸代(話題提供) : アクションリサーチ

村山陵子(文献紹介) : Margaret L. Moline. Sleep in women across the life cycle from adulthood through menopause. Sleep Medicine Reviews 7(2):155-177 , 2003

9月21日

渡辺悦子(文献紹介) : Physical activity and nutrition programs for couples: A randomized trial. Journal of Clinical Epidemiology; 56: 421-432. 2003.

岩瀬裕三子 : 修士論文経過報告

9月28日

小林小百合、渡井いずみ : 修士論文進捗状況報告

10月5日

松崎政代：修士論文経過報告

武内奈緒子(文献紹介)：Andrea Jennings-Sanders. Older Women With Breast Cancer: Perceptions of the Effectiveness of Nurse Case Managers. *Nurse Outlook* 51(3):108-114 , 2003

10月7日(サブ抄読会：学会発表報告会)

大島浩子：第8回高齢者介護・看護・医療フォーラム/脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究 ワークショップ 報告
プレゼンテーションについて ~スライドとポスターの作り方~

10月12日

有本 梓(文献紹介)：Mulsow M , Caldera Y , Pursley M , Reifman A. Multilevel Factors Influencing Maternal Stress during the First Three Years. *Journal of Marriage and Family*. 64: 944-956 , 2002.

村山洋史(文献紹介)：Keith G. Provan , Mark A. Veazie , Nicolette I. Teufel-Shone , et al. Network analysis as a tool for assessing and building community capacity for provision of chronic disease services. *Health Promotion Practice* , 5(2): 174-181 , 2004.

10月19日

Maria Luisa T. Uayan(文献紹介)：Kelly M Everard. Relationship of Activity and Social Support to the Functional Health of Older Adults. *55B(4):208-212* , 2000

本田亜起子(話題提供)：夫婦のみ世帯における老老介護に関する研究

10月26日

福井郁子(文献紹介)：Sarah K. Dudley , et al: Vigilance: The Experience of Parents Staying at the Bedside of Hospitalized Children. *Journal of Pediatric Nursing*; 19(4): 267-275 , 2004.

大田えりか(文献紹介)：Vivienne M. Moore , et al.: Dietary Composition of pregnant Women is Related to Size of the Baby. *American Society for Nutritional Sciences*;134(7):1820-1826 , 2004.

11月2日

長弘佳恵(文献紹介)：Polly Ryan. The Efficacy of Tailored Interventions. *Journal of Nursing Scholarship* 34(4):331-337 , 2002

春名めぐみ(話題提供)：日本における開業助産師と産婦人科医が行う妊婦への保健指導の比較

11月9日

近藤由生子(文献紹介)：Paul Clarkson , David Challis. Quality Assurance Practices in Care Management: A Perspective from the United Kingdom. *Care Management Journals*. 4(3): 142-151 , 2003 Fall.

大田えりか：修士論文研究計画報告

11月16日

田口敦子(話題提供)：市町村合併が高齢者保健福祉サービスに及ぼす影響

山本文子：卒業論文経過報告

11月30日

松崎政代：修士論文経過報告

成瀬昂：卒業論文経過報告

12月7日

長弘佳恵、村山洋史：修士論文研究計画報告

12月14日

糠信憲明(文献紹介)：Clostridium difficile-associated diarrhea in a region of Quebec from 1991 to 2003:a changing pattern of disease severity. Journal of Canadian Medical Association , 171(5) , 466-472 , 2004

渡井いずみ：修士論文進捗状況報告

12月21日

小林小百合、岩瀬裕三子：修士論文進捗状況報告

1月11日

岩瀬裕三子、小林小百合、渡井いずみ、松崎政代：修士論文進捗状況報告

1月18日

岩瀬裕三子、小林小百合、渡井いずみ、松崎政代：修士論文発表予行

1月25日

岩瀬裕三子、小林小百合、渡井いずみ、松崎政代：修士論文発表予行

3月1日

長弘佳恵、福井郁子：修士論文研究計画報告

3月8日

大田えりか、村山洋史：修士論文研究計画報告

(2) 研究会

地域看護学教室研究会 (毎月第3金曜日 18:00~20:00)

	日程	テーマおよび講師 (敬称略)
第107回	2004年 4月23日	征矢野 あや子(信州大学医学部保健学科) 「転倒予防自己効力感尺度(FPSE)の開発、利用可能性の検討」 鷺見 尚巳(北海道大学医学部保健学科) 「高齢者に対する専門的退院支援スクリーニングの検討 ～入院時スクリーニング票の開発と妥当性の検証～」
第108回	5月26日	福井 小紀子 (東京都立保健科学大学保健科学部看護学科) 「地域看護領域における量的研究の実際例」
第109回	6月17日	大原 一興 (横浜国立大学大学院工学研究院) 「痴呆性高齢者の居住環境」
第110回	7月23日	石川 雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター) 「あなたが必要とされる保健事業の方向性 - どの分野と組めば健康事業が人間事業につながるか - 」
第111回	9月3日	福丸 由佳 (聖徳大学人文学部臨床心理学科) 「乳幼児を持つ父母における仕事と家庭の多重役割 - 父親の現状を中心として - 」
第112回	10月1日	野村 陽子 (厚生労働省保健指導室) 「最新の地域保健・看護、保健師行政」
第113回	10月22日	武内 奈緒子 (東京大学大学院医学系研究科地域看護学教室) 「施設ケアマネジメント」
第114回	11月19日	津村 智恵子 (大阪府立看護大学看護学部地域看護学) 「保健師の歴史」
第115回	12月21日	古谷野 亘 (聖学院大学人文学部人間福祉学科) 「量的研究方法論」
第116回	2005年 1月20日	田中 滋 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科) 「在宅24時間安心提供体制システム調査研究事業について」
第117回	2月18日	中川 泉 (新潟県立看護大学看護学部基礎看護学) 「震災を体験して」

(3) 研究プロジェクト

村嶋幸代，田口敦子，永田智子，近藤由生子，他。

24 時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究 - 夜間・早朝の訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化 -

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究

村嶋幸代，錦戸典子，麻原きよみ，安齋由貴子，永田智子，田口敦子，佐藤憲子，酒井太一，吉岡京子，有本梓。

地域看護学における用語の国際比較研究

平成 16 年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)

村嶋幸代，上野桂子，野中博，宮崎和加子，山崎摩耶，和田行男，永田智子，近藤由生子，田口敦子，他。

痴呆性(認知症)高齢者への訪問看護の拡大研究事業

平成 16 年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)

菅田勝也，杉下知子，数間恵子，村嶋幸代，他(村嶋班分担研究者：萱間真美，永田智子)。看護情報の活用をとおした看護の質の向上に関する研究。

平成 15-16 年度科学研究費補助金基盤研究(A)(2)

錦戸典子，村嶋幸代，田口敦子，永田智子，麻原きよみ，安齋由貴子，蔭山正子，都筑千景，吉岡京子，横山梓，武内奈緒子，渡井いずみ，他。

保健師活動におけるグループ支援およびコミュニティ支援プロセスの標準化 アウトカム評価尺度の開発を含めて

平成 15-18 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)

数間恵子，菅田勝也，村嶋幸代，真田弘美，須釜淳子，河正子，田高悦子，宮下光令，佐々木美奈子，永田智子，伊藤直美，武村雪絵，鷲見尚己，田口敦子。

病院看護の予防機能発揮による効果的・効率的医療の提供に関する研究。

平成 16-18 年度科学研究費補助金基盤研究(A)(2)

高橋龍太郎，今福一郎，村嶋幸代，永田智子，大島浩子。

脳卒中患者の失認・失行と生活障害に関する研究。

平成 14-16 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)

村嶋幸代，川越博美，高橋龍太郎，山本則子，永田智子，小林小百合，他。

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究。

平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業) (研究代表者：村嶋幸代、川越博美)

村嶋幸代，大島浩子

失認・失行を有する脳卒中患者の生活障害に関する研究(K381)

2003(平成 15-16)年度(財)三井住友海上福祉財団研究助成 交通安全・高齢者福祉関係研究
(K381)(研究代表者：大島浩子)

大島浩子，村嶋幸代，高橋龍太郎

高齢社会における医療システムに関する研究

平成 16 年(財)博慈会老人病研究所 優秀論文助成

西村昌記，高木竜輔，本田亜起子，矢部拓也，水嶋陽子，古谷野巨

老老介護の現状と課題に関する調査研究

平成 15 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

吉岡京子

地域の健康問題を行政として解決する方法論の明確化

保健師の「ニーズからの施策化」手法に焦点を当てて

財団法人日本科学協会 平成 16 年度笹川科学研究助成

3. 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 3年後期 (4単位)

担当： 村嶋幸代 / 山田雅子(セコメディック病院看護部) 他

期間： 平成16年10月21日～平成16年12月2日 木曜日 13:00～16:10
 平成16年12月8日～平成17年2月2日 水曜日 9:00～12:10

日程	テーマ	担当
10月21日 (木) PM	地域看護学の概念、対象と機能、動向	(村嶋)
11月4日 (木) PM	保健師活動の概要 地域ケアのデザイン - ニーズ把握から評価まで -	(村嶋)
11月11日 (木) PM	母子保健活動論	(田口)
11月18日 (木) PM	介護保険制度	(村嶋)
11月25日 (木) PM	難病患者への地域看護活動	(小西)
12月2日 (木) PM	結核を通じた国際地域看護活動	(山下)
12月8日 (水) AM	地域における感染管理	(糠信)
12月15日 (水) AM	成人・老人保健活動論	(錦戸)
1月12日 (水) AM	在宅ケアの仕組みと看護活動	(山田)
1月19日 (水) AM	訪問看護活動の実際	(山田)
1月26日 (水) AM	地域看護の展開事例	(小林)
2月2日 (水) AM	地域看護管理 地域ケアの将来像と地域看護の役割	(村嶋)

講師

小西かおる	東京都神経科学総合研究所 研究員
山下武子	財団法人結核予防会事業部長 兼 結核研究所対策支援部長
小林政子	世田谷区世田谷保健所健康増進課 係長
錦戸典子	東海大学健康科学部看護学科 教授
山田雅子	セコメディック病院 看護部長

2) 老人地域看護学 4年前期(2単位)

担当： 村嶋幸代

高橋龍太郎(東京都老人総合研究所)

柳澤 愛子(東京大学医学部附属病院 医療社会福祉部 看護師長)

期間： 前期 平成 16 年 4 月 7 日～5 月 12 日

毎水曜日 9：00～12：10(4月19日は終日)

4月 7日(水)	ケアマネジメント	(村嶋)
4月14日(水)	病院から地域へ 退院支援 ステーション実習オリエンテーション	(柳澤・村嶋・永田)
4月19日(月)(終日)	訪問看護ステーション見学実習()	
4月21日(水)	ケアシステムの構築	(村嶋)
4月28日(水)	介護予防	(村嶋)
5月12日(水)	高齢者の生活機能・健康問題	(高橋)

訪問看護ステーション見学実習 実習施設

小石川医師会訪問看護ステーション (2名)

東京都看護協会千駄木訪問看護ステーション(2名)

訪問看護ステーションけせら (2名)

浅草医師会立訪問看護ステーション (2名)

セコム新宿訪問看護ステーション (2名)

セコム高輪訪問看護ステーション (2名)

3) 保健指導論 4年前期 (2単位)

担当： 村嶋幸代

錦戸典子 (東海大学 健康科学部 教授)

上野昌江 (大阪府立看護大学 地域看護学 助教授)

松田一美 ((財)社会保険健康事業財団 保健部健康指導課 課長)

期間： 前期 平成16年4月8日～5月13日

毎木曜日 13:00～16:10

ただし、4月12日(月)、26日(月)は 9:00～12:10

日程	講義題目	担当
4月8日(木)	保健指導概論 保健指導の方法：個別指導(健康相談、健診事後指導)	(村嶋)
4月12日(月)	保健指導の方法：地区組織活動・グループ支援 集団指導の立案(演習)	(村嶋) (田口)
4月15日(木)	保健指導の方法：家庭訪問 健康診査	(上野)
4月26日(月)	保健指導の実際：個別指導(成人事例、演習)	(松田)
5月6日(木)	保健指導の方法：家庭訪問 健康診査(乳幼児事例)	(上野)
5月13日(木)	保健指導の実際：集団指導の実施(演習)	(村嶋、錦戸、 永田、田口、 近藤)

4) 保健学実験・検査・観察法実習(ラボメソ)

対象：健康科学・看護学科3年生

期日：9月13日 ガイダンス 他

9月14日 生理学

内容：「頭頸部および全身状態」(田口・近藤)

5) 看護学の基礎と展開(総合科学：人間・環境一般)

対象：駒場学生

期日・内容：

7月1日 地域看護：暮らしやすい地域を創るケア (村嶋)

7月8日 退院支援：病院から在宅にスムーズに移行するために(村嶋・永田)

6) 看護学入門「地域看護学」(全学自由ゼミナール)

担当：村嶋，近藤

対象：駒場学生

期日：8月5日

内容：龍岡老人保健施設見学実習

- 7) 健康科学・看護学概論
 対象：医学科 / 健康科学・看護学科学生
 期日：12月21日
 内容：「地域看護学が目指すもの」(村嶋)
- 8) 内科系統講義「老年病」
 対象：医学科学生
 期日：6月3日
 内容：「高年者の看護・介護・福祉」(村嶋)
- 9) 介護学総論・介護実習概論
 対象：医学科学生
 期日：7月16日
 内容：「老年者の介護」(村嶋)

(2) 学部実習

[4年生]

期間：平成16年11月15日～11月26日

実習施設

板橋区板橋健康福祉センター	(2名)
板橋区志村健康福祉センター	(2名)
江東区城東保健相談所	(2名)
江東区深川保健相談所	(1名)
世田谷区世田谷保健福祉センター	(2名)
世田谷区北沢保健福祉センター	(2名)

[3年生(編入生)]

期間：平成16年2月21日～3月11日

実習施設

江東区城東保健相談所	(2名)
江東区深川保健相談所	(1名)

(3) 大学院特論

1) 特論

担当：村嶋幸代 / 吉田亨(群馬大学医学部保健学科医療基礎学)

日程：火曜日または金曜日 13:30~16:00

目的：Community レベルの健康およびその研究について学ぶ。

主なテキスト：Douglas V. Easterling, Kaia M. Gallagher, Dora G. Lodwick (Eds.).
Promoting Health at the Community Level. Sage Publications, 2003.

4月27日(火)	オリエンテーション, 打ち合わせ	(村嶋)
5月18日(火)	輪読・討議	(村嶋)
21日(金)	地域における組織活動論 (歴史と理論)	(吉田)
25日(火)	輪読・討議	(村嶋)
6月1日(火)	輪読・討議	(村嶋)
8日(火)	地域における組織活動論 (活動の実際)	(吉田)
15日(火)	輪読・討議	(村嶋)
18日(金)	輪読・討議	(村嶋)
29日(火)	輪読・討議	(村嶋)
7月2日(金)	地域における組織活動論 (ヘルスプロモーション)	(吉田)

2) 特論II

担当：村嶋幸代 / 田上豊(三菱総合研究所) / 麻原きよみ(聖路加看護大学)

日程：平成16年10~12月の火曜日(12/6, 12/13のみ月曜日)13:30~16:30

内容：地域ケアシステムに関する研究、および質的研究についての方法論ならびに研究の現状と課題について学ぶ。

日程	テーマ	担当
11月 9日(火)	介護保険と今後の地域看護	(田上)
16日(火)	24時間在宅ケアシステムの現状と課題	(村嶋)
30日(火)	在宅ケアの社会経済的効果	(田上)
12月 6日(月)	地域看護学における質的研究の実際	(麻原)
7日(火)	ケアマネジメントの考え方と課題	(村嶋)
13日(月)	保健師実践モデルの開発の試み	(麻原)
14日(火)	訪問看護ステーションの経営	(田上)

(4) 卒業論文

成瀬昂(指導教員：村嶋幸代)

保育園の1, 2歳クラスに通う子供を持つ父親の育児支援行動に関連する要因

山本文子(指導教員：村嶋幸代, 田口敦子)

行政と民間における保健師活動の特徴

- 行政退職後、民間で活動する保健師の調査から -

(5) 修士論文

岩瀬裕三子(指導教員：村嶋幸代)

男性定年退職者にとっての再就業の意味とプロセス

小林小百合(指導教員：村嶋幸代)

痴呆性高齢者グループホームが経験したターミナルケアの取り組み

渡井いずみ(指導教員：村嶋幸代)

乳幼児を持つITエンジニアのワーク・ファミリー・コンフリクトが健康に及ぼす影響について

(6) 博士論文

鷲見尚己(指導教員：村嶋幸代)

高齢患者における専門的退院支援スクリーニング票の開発